

[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 1

正岡子規 まさおかしき

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1867(慶応3)～1902(明治35)年 [35歳]	
出身	愛媛県	
思潮	日本派	写生論を唱え俳句革新運動を進めた。
歌論	「歌よみに与ふる書」	万葉調と写生を重んじる姿勢を示した歌論。
歌誌	『① 』	俳句の雑誌。多くの新人を輩出した。

赤蜻蛉(とんぼ)筑波に雲もなかりけり
(赤蜻蛉が飛び交っている。遠く筑波山には雲ひとつない澄んだ秋空が晴れ晴れと見えるよ。)

いくたびも雪の深さを尋ねけり

(病床にふせって外の雪の深さを知ることでもできないので、家人に何度も雪がどれだけ積もったかを問いかけたよ。)

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺

(柿を食べていたら鳴ったよ、法隆寺の鐘が。)



[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 2

河東碧梧桐 かわひがしへきごとう

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1873 (明治6) ~ 1937 (昭和12) 年 [63歳]	
出身	愛媛県	
思潮	新傾向俳句	個性や印象を尊重し、きまりに縛られない作風。
句集	『新傾向句集』	季語や定型にとらわれない俳句を収めた句集。
紀行文	「①」	<small>あんぎゃ</small> 全国行脚中に作られた句を収めた紀行文。

赤い椿 白い椿と落ちにけり

(赤い椿、白い椿、それぞれが地面に落ちていくよ)

曳かれる牛が辻でずっと見回した秋空だ

(ひかれていく牛が辻で秋空を見回した。)

春浅き水を渡るや鷺《さぎ》一つ

(早春の水辺を渡っているよ。鷺がたった一羽で。)



〔近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)〕 3

杉田久女 すぎたひさじよ

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1890(明治23)～1946(昭和21)年 [57歳]	
出身	鹿児島県	
思潮	ホトトギス派	格調高く情熱的な作風で知られていたが、後に除籍。
句集	『① 』	死後、遺族によって刊行された句集。
随筆	『杉田久女随筆集』	俳句、随筆、俳論の三部で構成された随筆集。

花衣ぬぐやまつはへたる紐(ひも)いろいろ

(花見からの帰り、畳の上に一枚ずつ着物を脱ぐと、色とりどりの紐が
あてやかに渦を巻いて広がる。)

訝(こだま)して山ほととぎすほしいまゝへま

(遠くこだまするほどに、ほととぎすが思うがままに鳴いている。)

かな 紫陽花(あじさい)に秋冷(しゅうれい)いたる信濃

(初夏の紫陽花が秋まで咲いている、ひんやりとした空気の山国信濃で
あるよ。)



[近現代詩歌に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 4

尾崎放哉 おざきほうさい

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1885(明治18)～1926(大正15)年 [41歳]	
出身	鳥取県	
思潮	自由律俳句	句誌『層雲』 ^{そうらん} に投句。新傾向自由律俳句を詠んだ。
句集	『① 』	放浪しながら独自の心境をうたった。唯一の句集。

せきをしてもひとり

(咳をしても心配してくれる人もいない。)

こんなよい月を一人で見ている

(こんなにも美しい月をたった一人で見ている。)

自分をなくしてしまつて探して居る

(自分というものをなくしてしまつたから、探している。)

いれものがない両手でうける

(いれる器がないので両手でおしただく)



[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 5

種田山頭火 たねださんとうか

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1882 (明治15) ~1940 (昭和15) 年 [57歳]	
出身	山口県	
思潮	自由律俳句	季語やきまりに縛られない作風。
句集	はちのこ 『鉢の子』	第一句集。流転、放浪の日々を詠む。
	『① 』	死の直前に刊行された自選句集。

分け入っても分け入っても青い山
(行っても行っても青い山は続く。)

うしろすがたのしぐれてゆくか
(旅人の背に、今日も時雨が降りかかる。)

いつもつながれてほえるほかない犬です
(いつも繋がれていて、吠える他にはやり場のない犬なのです。)

まつすぐな道でさみしい
(私が行く道がまつすぐ続いている。なんだかさみしい。)

〔近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)〕 6
鑑賞文を書こう！

年 組 氏名

あなたが学習した内容を表現することはできましたか。
自分の書いた鑑賞文が次の型に沿っているかを確認しましょう。

【鑑賞文例】

①【選択】自分が選んだ俳句の明記。

[杉田久女]という俳人の「花衣ぬぐやまつはる紐いろいろ」という俳句の鑑賞文を書きます。

②【理由】作品を選んだ理由。

選んだ理由は[明るくて浮き浮きした雰囲気の俳句だった]からです。

④【季語】季節をあらわす言葉。

[花衣]という言葉から、季節が[花見の季節、つまり春だ]ということに気づきました。

⑤【色・音】色や音をあらわす言葉。

また、[紐いろいろ]という語句から、[あでやかな色が重なっていくイメージ]を感じました。

⑥【全体的な感想】中身を味わって、自分が思ったこと。

この俳句から、[花見から帰った後の、作者の華やいだ気持ちと開放感]が伝わってきました。

自分が「この風は日常のまじりに感じることができると思っています。」

学習するみなさんへ：

鑑賞文を書くときには、「型」を意識した書き方を経験しましょう。

また、次のポイントに気をつけましょう。

○読んだ内容を、いろんな観点から分析する。

○自分が書きたい内容が正確に表せるように付属語を選ぶ。

シートに下書きした後、原稿用紙に書くと原稿用紙の使い方の理解にもつながります。

〔近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)〕 7

与謝野晶子 よさのあきこ

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1878 (明治11) ~1942 (昭和17) 年 [64歳]	
出身	大阪府	
思潮	ろうまん 浪漫派	よさのてっかん 夫与謝野鉄幹と共に、雑誌『明星』等で活躍。 みょうじょう
歌集	『①』	青春の情熱と官能を自由奔放 <small>ほんぼう</small> に表現した歌集。
詩歌集	こいごろも 『恋衣』	反戦詩「君死 <small>なか</small> にたまふこと勿れ」等を収めた詩歌集。

その子二十歳櫛くしにながるる黒髪のおごりの春のうつくしきかな

(その人は二十歳。櫛に流れる黒髪、誇らしい青春の美しさよ)

金色こんじきのちひさき鳥のかたちしていてふへいちょうへいちょうちるなり夕日の岡に

(金色の小さい鳥のような形で、いちちょうの黄色い葉が夕日の岡に散っている)

清水へ祇園をよぎる桜月夜
こよひへい逢ふへう人みなうつくしき

(桜咲く月夜の下で清水寺の方へ祇園を通りぬけていくと、今夜すれ違
う人が皆美しく見えることだ)



〔近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)〕 8

北原白秋 きたはらはくしゅう

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1885 (明治18) ~1942 (昭和17) 年 [57歳]	
出身	福岡県	
思潮	<small>ろうまん たんび</small> 浪漫・耽美派	新人の筆頭として、雑誌『明星』で活躍した。
歌集	『① 』	都会の新しい風物と、近代人の憂鬱 <small>ゆううつ</small> さを歌った歌集。
詩集	<small>じゃしゅうもん</small> 『邪宗門』	<small>いこくじょうちよ</small> 異国情緒を取り入れ、新鮮な世界を作った詩集。

ヒヤシンス薄紫に咲きにけり
はじめて心顫ふるひふるいそめし日

(ヒヤシンスの花が薄紫色に咲いた。初めての想いに心が震えたその日に。)

病める児こはハモニカを吹き夜に入りぬ
もろこし畑ばたの黄なる月の出

(病氣の子がハモニカを吹いているうちに夜になった。黄色い月がもろこし畑から昇ってきたよ。)

君かへす朝の舗石しきいしさくさくと
雪よ林檎りんごの香かのごとくふれ

(君が朝、庭の石をさくさくと踏みながら家へと帰っていく。雪よ、林檎の香りのように降っておくれ。)



[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 9

石川啄木 いしかわたくぼく

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1886(明治19)～1912(明治45)年 [26歳]	
出身	岩手県	
思潮	自然(生活)派	実生活の感情を日常語で描く作風。
歌集	『① 』	東京での生活を三行書きの形式で収めた歌集。
	『悲しき玩具』	現実の苦しさや、社会の現実を見据えた歌集。

いのちなき砂のかなしさよ
さらさらと
握れば指のあひへいだより落つ

(命を持たない砂の悲しいことよ。握っても指の間からさらさらと抜け落ちる...)

たはへわむれに母を背負ひへいて
そのあまりの軽へかるきに泣きて
三步あゆまず

(遊びのつもりで母を背負ってみたら、そのあまりの軽さに驚いて三步すら歩けなかった。なんと母の年老いたことか...)

何となく、
今年はいい事あるごとし。
元旦の朝、晴れて風無し。

(何となく今年はいいことがありそうだ。元旦の朝は晴れて風もない。)



〔近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)〕 10

齊藤茂吉 さいとうもきち

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1882 (明治15) ~1953 (昭和28) 年 [70歳]	
出身	山形県	
思潮	アララギ派	雑誌『アララギ』で活躍。「写生」説を深めた。
歌集	『① 』	連作「死にたまふ母」が有名な、万葉調の歌集。
	『白き山』	最上川を中心とする自然の姿を歌った歌集。

みちのくの母のいのちを一目見ん
一目みんとぞただにいそげる

(みちのくに住む母が生きている姿を一目でも見たいと、ただひたすら故郷への道を急いでいる。)

彼岸に何を求むるよい闇の
最上川の上のひとつ螢は

(彼岸を漂う螢は何を求めているのだろうか、宵闇の最上川の上をたった一匹で...)

あかあかと一本の道とほりたり
たまきはる我が命なりけり

(あかあかと夕陽に照らされた一本道が目の前に延びている。これは一筋に生きて行かねばならぬ私の命なのだなあ。)

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 11

若山牧水 わかやぼくすい

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1885 (明治18) ~1928 (昭和3) 年 [43歳]	
出身	宮崎県	
思潮	自然 (生活) 派	浪漫派だったが、後に自然主義的な作風に変化した。
歌集	『① 』	青春の哀しみと恋情をうたった歌集。
	『別離』	旅や自然への愛情をうたった歌集。

幾山河越えさり行かば寂しさの
終へはてなむ国ぞ今日も旅ゆく
(へどれだけの山と河を越えて行けば、寂しさのない国にたどり着くのだ
ろう。今日も求めて旅をするのだ。)

白鳥は哀しからずや空の青
海のをにも染まらずただよふ

(へあの白い鳥は悲しくないのだろうか。空の青色にも海の青色にも染ま
ずにたった一羽、漂っている。)

かたはへわらに秋ぐさの花かたるらく
ほろびしものはなつかしきかな

(へすぐそばに咲いている秋の草花が語りかけてくれる。滅びたものはな
つかしいよ。)



[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 12
鑑賞文を書こう！

年 組 氏名

あなたが学習した内容を表現することはできましたか。
自分の書いた鑑賞文が次の型に沿っているかを確認しましょう。

【鑑賞文例】

①【選択】自分が選んだ短歌の明記。

[北原白秋]という歌人の「君かへす朝の舗石さくさくと雪よ林檎の香のごとくふれ」という短歌の鑑賞文を書きます。

②【理由】作品を選んだ理由。

選んだ理由は[幻想的な中に爽やかさがあって、素敵だなあと思った]からです。

④【季語】季節をあらわす言葉。

[雪]という季語から、季節が[冬]だということに気づきました。

⑤【色・音】色や音をあらわす言葉。

また、[さくさく]という語句から、[雪を踏みしめるかすかな音]を感じました。

⑥【全体的な感想】中身を味わって、自分が思ったこと。

この俳句から、『君』に対する作者のせつない思いが伝わってきました。自分もいつかこんな風な気持ちになることがあるのかなあ・・・？と待ち遠しいような怖いような気持ちです。]

学習するみなさんへ：

鑑賞文を書くときには、「型」を意識した書き方を経験しましょう。

また、次のポイントに気をつけましょう。

○読んだ内容を、いろんな観点から分析する。

○自分が書きたい内容が正確に表せるように付属語を選ぶ。

シートに下書きした後、原稿用紙に書くと原稿用紙の使い方の理解にもつながります。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 13

上田敏 うえだびん

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1874 (明治7) ~ 1916 (大正5) 年 [41歳]	
出身	東京都	
詩集	『① 』	外国の詩を ^{ほんやく} 翻訳した詩集。
詩	「落葉」	秋の日の ヴィオロンの ためいきの 身にしみて ひたぶるに うら悲し。...
	「春の朝」	時は春、日は朝《あした》、朝は七時...

山のあなた

カアル・ブッセ

山「幸(さいわい)のあなたの空遠く
 噫(ああ)、われひと、《ひとと》
 尋(もと)めゆきて、
 涙(なみ)さしぐみ、かへりきぬ。
 山「幸」のあなたになほ遠く
 住むと人のいふ。



[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 13

上田敏 うえだびん

年 組 氏名

外国文学を日本に紹介し、北原白秋その他様々な詩人に影響を与えました。

作者	上田敏	
時代	1874 (明治7) ~ 1916 (大正5) 年 [41歳]	
出身	東京都	
詩集	<small>かいちょうおん</small> 『①海潮音』	外国の詩を翻訳した詩集。
詩	「落葉」	秋の日の ヴィオロンの ためいきの 身にしみて ひたぶるに うら悲し。…
	「春の朝」	時は春、日は朝《あした》、朝は七時、…

「山のあなた」の詩を、写し書きしてみよう。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 14

野口雨情 のぐちうじょう

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1882 (明治15) ~1945 (昭和20) 年 [49歳]	
出身	茨城県	
童謡	「①」	からす なぜ啼くの からすは山に 可愛い七つの 子があるからよ
	しょうじょうじのたぬきばやし 「証城寺の狸囃子」	証 証 証城寺 証城寺の庭は ツ ツ 月夜だ みんな出て来い来い来い
	「赤い靴」	赤い靴 はいてた 女の子 異人さんにつれられて 行っちゃった

シ風、こ産飛シ こ屋屋シ
 ヤ、はまばヤ は根根シ
 ボ風、れれずボ れままボ
 ン、ててにン てででン
 玉吹、消す消玉 消飛飛玉
 飛く、えぐえ消 えんん飛
 ばな、たにたえ たでだん
 そ た た た た た

「シヤボン玉」

[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 14

野口雨情 のぐちうじょう

年 組 氏名

幼くして死んだ娘のことを思いながら「シャボン玉」の歌詞を作ったといわれています。

作者	野口雨情	
時代	1882 (明治15) ~ 1945 (昭和20) 年 [49歳]	
出身	茨城県	
童謡	「①七つの子」	からす なぜ啼くの からすは山に 可愛い七つの子があるからよ
	しょうじょうじのたぬきばやし 「証城寺の狸囃子」	証 証 証城寺 証城寺の庭は ツ ツ 月夜だ みんな出て来い来い来い
	「赤い靴」	赤い靴 はいてた 女の子 異人さんにつれられて 行っちゃった

「シャボン玉」の歌詞を、写し書きしてみよう。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 15

高村光太郎 たかむらこうたろう

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1883 (明治16) ~1956 (昭和31) 年 [73歳]	
出身	東京都	
詩集	『① 』	妻智恵子との出会い・発病・死までを描いた詩集。
詩	「 ^{れもんあい} レモン哀歌」	そんなにもあなたはレモンを待ってゐた…
	「あどけない話」	智恵子は東京に空が無いといふ…

道程

僕の前には道はない
 僕の後ろに道は出る
 ああ、自然よ
 父よ一人立ちさせた
 僕を一人立ちさせた
 僕から目を離さないで
 常にお父さんの気魄を
 この遠い道程のため
 ここに遠い道程のため
 を僕に充てよ
 を僕に充てよ
 を僕に充てよ
 を僕に充てよ
 を僕に充てよ



[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 15

高村光太郎 たかむらこうたろう

年 組 氏名

彫刻家としても有名です。

作者	高村光太郎	
時代	1883 (明治16) ~ 1956 (昭和31) 年 [73歳]	
出身	東京都	
詩集	ちえこしょう 『①智恵子抄』	妻智恵子との出会い・発病・死までを描いた詩集。
詩	「レモン哀歌」	そんなにもあなたはレモンを待ってみた…
	「あどけない話」	智恵子は東京に空が無いといふ…

「道程」の詩を、写し書きしてみよう。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 16

山村暮鳥 やまむらぼちょう

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1884 (明治17) ~1924 (大正13) 年 [40歳]	
出身	群馬県	
詩集	『① 』	世間では悪評だったが、萩原朔太郎に影響を与えた。
詩	「りんご」	この氣持林檎が一つ 日あたりにころがつてゐる
	「雲」	おうい雲よ いういうと馬鹿にのんきさうぢやないか

いやいいいいいいいいい いひいいいいいいいいい いかいいいいいいいいい
 ちめちちちちちちちちち ちばちちちちちちちちち ちすちちちちちちちちち
 めるめめめめめめめめめ めりめめめめめめめめめ めかめめめめめめめめめ
 んはんんんんんんんんんん のんんんんんんんんん のなんんんんんんんんん
 のひののののののののの のおののののののののの のるののののののののの
 なるななななななななな なしななななななななな なおななななななななな
 ののののののののの のやののののののののの のぎののののののののの
 はっははははははははは はべははははははははは はぶははははははははは
 なきななななななななな なりななななななななな なえななななななななな

風景

純銀もぎいく

[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 16

山村暮鳥 やまむらぼちょう

年 組 氏名

自然の中に神秘を見出し、清らかな、美しい詩を数多く書きました。

作者	山村暮鳥	
時代	1884(明治17)～1924(大正13)年 [40歳]	
出身	広島県	
詩集	<small>せいさんりょうはり</small> 『①聖三稜玻璃』	世間では悪評だったが、萩原朔太郎に影響を与えた。
詩	「りんご」	この氣持林檎が一つ 日あたりにころがつてゐる
	「雲」	おうい雲よ いういうと馬鹿にのんきさうちやないか

「風景」の詩を、写し書きしてみよう。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 17

萩原朔太郎 はぎわらさくたろう

年 組 氏名

<課題>

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1886 (明治19) ~ 1942 (昭和17) 年 [56歳]	
出身	群馬県	
詩集	『① 』	孤独な幻想を、音楽的に表現した詩集。
	『青猫』	口語自由詩の代表的詩集。悲哀やむなしさを描いた。
詩	「蝶を夢む」	座敷のなかで 大きなあつぼつたい翼をひろげる…

竹

光る地面に竹が生え、
 青竹が生え、
 地下には竹の根が生え、
 根が先にほそらみ、
 根の先よりに繊維毛(せんもう)が生え、
 かすかにふるえ、
 かすかにふるえ。
 かすかにふるえ。
 地上に竹が生え、
 まつぐらに竹が生え、
 凍れる節りに竹が生え、
 青竹の節りに竹が生え、
 竹、竹、竹が生え、
 竹、竹、竹が生え。



[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 17

萩原朔太郎 はぎわらさくたろう

年 組 氏名

近代詩の完成者と呼ばれています。

作者	萩原朔太郎	
時代	1896 (明治19) ~1942 (昭和17) 年 [56歳]	
出身	山口県	
詩集	『①月に吠える』	孤独な幻想を、音楽的に表現した詩集。
	『青猫』	口語自由詩の代表的詩集。悲哀やむなしさを描いた。
詩	「蝶を夢む」	座敷のなかで 大きなあつぼつたい翼をひろげる…

「竹」の詩を、写し書きしてみよう。

〔近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)〕 18
鑑賞文を書こう！

年 組 氏名

あなたが学習した内容を表現することはできましたか。
自分の書いた鑑賞文が次の型に沿っているかを確認しましょう。

【鑑賞文例】

- ①【選択】自分が選んだ詩の明記。
[山村暮鳥]という詩人の「風景」という詩の鑑賞文を書きます。
- ②【理由】作品を選んだ理由。
選んだ理由は[うららかな春の風景が目に見えるようだった]からです。
- ④【季節】季節をあらわす言葉。
[なのはな]という言葉から、季節が[春だ]ということに気づきました。
- ⑤【色・音】色または音をあらわす言葉。
また、[ひばりのおしゃべり]という語句から、[鳥のさえずり]を感じました。
- ⑥【全体的な感想】中身を味わって、自分が思ったこと。
この詩から、[のどかで平和な春のひと時を味わう作者の幸福感]が伝わってきました。
自分も[このような菜の花畑へ友達とお弁当を持って、ピクニックに行きたいです。]

学習するみなさんへ：

鑑賞文を書くときには、「型」を意識した書き方を経験しましょう。

また、次のポイントに気をつけましょう。

- 読んだ内容を、いろんな観点から分析する。
- 自分が書きたい内容が正確に表せるように付属語を選ぶ。

シートに下書きした後、原稿用紙に書くと原稿用紙の使い方の理解にもつながります。

[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 19

八木重吉 やぎじゅうきち

年 組 氏名

死後「貧しき信徒」や「神を呼ぼう」が刊行され、
信仰の詩人としての評価を高めました。

作者	八木重吉	
時代	1898（明治31）年～1927（昭和2）年 [29歳]	
出身	東京都	
詩集	『①秋の瞳』	キリスト教徒として書いた第一詩集。
詩	「虫」	虫が鳴いている いま ないておかなければ もう駄目だというふうに鳴いている
	「母をおもう」	けしきが あかるくなってきた 母をつれて てくてくあるきたくなった

「素朴な琴」「心よ」の詩を、写し書きしてみよう。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 20
立原道造 たちはらみちぞう

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1914 (大正3) ~1939 (昭和14) 年 [24歳]	
出身	東京都	
詩集	『① 』	旅と青春への思いをうたった詩集。
詩	「夢みたものは」	夢みたものはひとつの幸福 ねがったものはひとつの愛…
	「やがて秋…」	やがて秋が来るだろう 夕暮れが親しげに僕らにはなしかけ…


失なはれた夜に

灼(や)けた瞳が 灼けてゐた
青い眸(ひとみ)でも 茶色の瞳でも
なかつた きらきらしては
僕の心を つきさした

泣かさうとでもいふやうに
しかし 泣かしてはなかつた
きらきら 僕を撫(な)でてゐた
甘つたれた 僕の心を嘗(な)めてゐた

灼けた瞳は 動かなかつた
青い眸(ひとみ)でも 茶色の瞳でも
あるかのやうに いつまでも

灼けた瞳は しづかであつた!
太陽や香のいい草のことなど忘れてしまひ
ただかなしげに 灼けてゐた
きらきら きらきら



[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 20

立原道造 たちほらみちぞう

年 組 氏名

ドイツ詩の影響を受け、ソネット形式
(十四行詩)が使われています。

作者	立原道造	
時代	1914(大正3)～1939(昭和14)年 [24歳]	
出身	東京都	
詩集	『①萱草に寄す』	旅先と青春への思いをうたった詩集。
詩	「夢みたものは」	夢みたものはひとつの幸福 ねがったものはひとつの愛…
	「やがて秋…」	やがて秋が来るだろう 夕暮れが親しげに僕らにはなしかけ…

「失はれた夜に」の詩を、写し書きしてみよう。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 21

中原中也 なかはらちゅうや

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1907 (明治40) ~1937 (昭和12) 年 [30歳]	
出身	山口県	
詩集	『① 』	生前唯一の詩集。フランスの詩人の影響が強い。
詩	「汚れちまった 悲しみに」	汚れちまった悲しみに 今日も小雪の降りかかる…
	「サーカス」	幾時代かがありまして 茶色い戦争ありました…

月夜の浜辺

月夜の晩に、ポタンが一つ
波打際に、落ちてゐへいた。

それを拾つて、役立てようと
僕は思つたわけでもないが
なぜだかそれを捨てるに忍びず
僕はそれを、袂へたもとに入れてた。

月夜の晩に、ポタンが一つ
波打際に、落ちてゐた。

それを拾つて、役立てようと
僕は思つたわけでもないが
僕は浪に向つてそれは抛へほうれず
僕はそれを、袂に入れた。

月夜の晩に、拾つたポタンは
指先に沁へしみ、心に沁みだ。

月夜の晩に、拾つたポタンは
どうしてそれが、捨てられようか？



[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 21

中原中也 なかはらちゅうや

年 組 氏名

若くして亡くなりましたが、昭和を代表する詩人として有名です。

作者	中原中也	
時代	1907 (明治40) ~ 1937 (昭和12) 年 [30歳]	
出身	山口県	
詩集	『①山羊の歌』	生前唯一の詩集。フランス詩人の影響が強い。
詩	「汚れちまった 悲しみに」	汚れちまった悲しみに 今日も小雪の降りかかる…
	「サーカス」	幾時代かがありまして 茶色い戦争ありました…

「月夜の浜辺」の詩を、写し書きしてみよう。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 22

原民喜 はらたみき

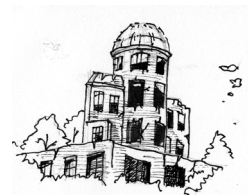
年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1905 (明治38) ~1951 (昭和26) 年 [45歳]	
出身	広島県	
詩集	『① 』	原爆の体験を描いた詩集。生と死を描いた。
詩	ひめい 「碑銘」	遠き日の石に刻み 砂に影おち 崩れ墜つ 天地のまなか 一輪の花の幻
	「コレガ人間ナノデス」	コレガ人間ナノデス 原子爆弾ニ依ル変化ヲゴラン下サイ...

永遠のみどり
 ヒロシマのデルタに
 若葉うづまけ
 死と焔(ほのお)の記憶に
 よき祈(いのり)よこもれ
 とはのみどりを
 ヒロシマのデルタに
 青葉したたれ



[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 22

原民喜 はらたみき

年 組 氏名

詩以外にも自分の原爆体験をつづった
「夏の花」という小説も書いています。

作者	原民喜	
時代	1905 (明治38) ~ 1951 (昭和26) 年 [45歳]	
出身	広島県	
詩集	げんぱくしょうけい 『①原爆小景』	原爆の体験を描いた詩集。生と死を描いた。
詩	ひめい 「碑銘」	遠き日の石に刻み 砂に影おち 崩れ墜つ 天地のまなか 一輪の花の幻
	「コレガ人間ナノデス」	コレガ人間ナノデス 原子爆弾ニ依ル変化ヲゴラン下サイ…

「永遠のみどり」の詩を、写し書きしてみよう。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)] 23

伊東静雄 いとうしずお

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1906 (明治39) ~1953 (昭和28) 年 [46歳]	
出身	長崎県	
詩集	『① 』	萩原朔太郎に「日本にまだ一人詩人がいた」と賞賛された。
詩	すいちゅうか 「水中歌」	今歳水無月のなどかは美しき 軒端を見れば 息吹のごとく …
	つばめ 「燕」	問の外のひかりまぶしき高きところに在りて 一羽の燕ぞ鳴く

自然に、充分自然に

草むらに子供はもかく小鳥を見つけた。
子供はのがしはしなかつた。
はげしくも何か瀕死(ひんし)に傷いた小鳥の方でも
指の指に噛みついた。

子供はハツトその愛撫を裏切られて
小鳥をカマかせに投げつけた。
小鳥は奇妙につよく空(くう)を蹴り
翻(ひる)がえり 自然にかたへの枝をえらんだ。

自然に？ 左様 充分自然に！
自然に？ 子供は見たのであつた、
礫(いし)のやうにそれが地上に落ちるのを。
そこに小鳥はらくらくと仰けにね転んだ。

[近現代文学に興味を持つシリーズ(詩歌編)] 23

伊東静雄 いとうしずお

年 組 氏名

大阪府立住吉中学校で教師をしていました。教え子に、ノーベル化学賞学者の下村脩さんがいます。

作者	伊東静雄	
時代	1906 (明治37) ~ 1953 (昭和28) 年 [46歳]	
出身	長崎県	
詩集	『①わがひとに 与ふる哀歌』	萩原朔太郎に「日本にまだ一人詩人がいた」と賞賛された。
詩	<small>すいちゅうか</small> 「水中花」	今歳水無月のなどかは美しき 軒端を見れば 息吹のごとく ...
	<small>つばめ</small> 「燕」	問の外のひかりまぶしき高きところに在りて 一羽の燕ぞ鳴く

「自然に、充分自然に」の詩を、写し書きしてみよう。

〔近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)〕 24
鑑賞文を書こう！

年 組 氏名

あなたが学習した内容を表現することはできましたか。
自分の書いた感想文が次の型に沿っているかを確認しましょう。

【鑑賞文例】

①【選択】自分が選んだ詩の明記。

[中原中也]という詩人の「月夜の浜辺」という詩の鑑賞文を書きます。

②【理由】作品を選んだ理由。

選んだ理由は[内容が理解しにくく、だからこそ余計に気になった]からです。

④【季節】季節をあらわす言葉。

[月夜の浜辺]という言葉から、季節が[はっきりとはわからない]ということに気づきました。
[ただ、寒い冬の夜中に浜辺を歩くことはないように思います。]

⑤【色・音】色または音をあらわす言葉。

また、[波打際]という語句から、[波の音]を感じました。

⑥【全体的な感想】中身を味わって、自分が思ったこと。

この詩から、[ボタン一つも捨てられない、作者の優しさ]が伝わってきました。自分も
[なんとなく捨てられない物や思い出がいくつかあるので、作者と自分は少し似ているよう
な気がしました。]

学習するみなさんへ：

感想文を書くときには、「型」を意識した書き方を経験しましょう。

また、次のポイントに気をつけましょう。

○読んだ内容を、いろんな観点から分析する。

○自分が書きたい内容が正確に表せるように付属語を選ぶ。

シートに下書きした後、原稿用紙に書くと原稿用紙の使い方の理解
にもつながります。

〔近現代文学に興味を持とうシリーズ(詩歌編)〕 25
詩歌を書こう！

年 組 氏名

あなたの作品を読んだ人からの感想

学習するみなさんへ：

近現代文学・詩歌シリーズはこれでおしまいです。楽しかったですか。

今回の学習のように、教科書で学習すること以外でも、楽しみながら言葉の力をつける方法はたくさんあります。これからもいろんな詩歌に興味を持つようにしてください。